

# 松陵

秋田県立能代高等学校  
同窓会事務局  
〒016-0184 能代市字高塚2-1 能代高校内  
TEL 0185-54-2230  
FAX 0185-54-2231  
題字は元会長神馬恒成氏  
印刷所 (株)北羽新報社



## 同窓会員の皆様へ

同窓会長 森 田 新一郎  
(40期)

皆様には日頃から同窓会活動に対し格別のご理解をいただき、特にこの度の90周年記念事業と軟式野球部全国大会派遣に対しましては大変大きなご支援をいただきました。お陰様で立派な記念事業ができましたし、軟式野球部も90周年という記念の年に全国大会準優勝という素晴らしい成績を残せました。心から感謝と御礼を申し上げます。

10月3日、ご来賓や同窓生など約1300人の皆様が増し「創立九十周年記念式典」を盛大に開催することができました。母校の体育館で千人以上の皆さんと一緒に歌った校歌が特に感動的でありました。続いての池上彰先生の記念講演では、司会や講師紹介から池上先生への謝辞まですべて生徒が行ったのですが、大変見事な進行ぶりでありました。流石に我々の後輩であります。

全体を通じて、イスに座っている姿勢や、あいさつや講演を聴いている時も全員が話している人の方を見ているなど聞く態度も良かったし、記念式典に出席したみんなが「能高生(のしこうせい)すごいね」と感心しておりました。その夜の祝賀会にも200名以上が参加し大いに盛り上がりました。

また今年の入会式は39期が担当し、塚本吉久氏の進行で菊地晴行氏が激励のあいさつをしました。男子136名、女子86名、合計222名の皆さんを同窓会にお迎えしました。

## 九十周年記念式典を振り返って

校長 菊池 一二三  
(45期)



同窓会の皆様には、いつも母校に深い愛情を注ぎ、ご支援いただいておりますことに心より感謝申し上げます。私も本校OBであり、創立九十周年という記念すべき年に赴任できたことを心より嬉しく思っております。

その九十周年記念式典は10月3日、本校体育館において、ご来賓や旧職員、保護者や同窓の方々1300名余りにご参列いただいで執り行われましたが、厳かな中にも温もりが感じられる素晴らしい式典になったと感じております。

式典終了後には、分かりやすい解説で有名なジャーナリスト池上彰氏を迎えて、記念講演が行われました。テレビでもお馴染みの方とあって、池上氏が入場する時から会場は生徒たちの期待感に包まれておりました。そして期待に違わず、ユーモアを交えた分かりやすい池上氏の話しぶりに会場は引き込まれ、時間は瞬く間に過ぎ去ってしまいました。

講演内容は示唆に富むものであり、生徒たちの今後に大いに刺激を与え、今、能代高校九十周年の時の上に立つ我々は、先人が築き上げた教えや伝統をしっかりと受け止め、百周年に向けて新たな歩みを進めていく覚悟しております。同窓会の皆様方におかれましては、今後とも本校に対するご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。

野球については、軟式は今回の全国準優勝の立役者であるエースが残っておりますので3年連続全国大会出場が大いに期待できると思います。硬式も、秋の県大会で決勝まで進みましたし、今や全国レベルとなった東北大会では準優勝の八戸学院光星に敗れはしたものの選手たちが十分な手応えをつかんでおります。軟式、硬式とも、私たちに来年の夏に向けて大きな夢と希望を与えており、今から大いに楽しみます。

### 同窓会総会・新年祝賀会のご案内

今年は周年行事の年なので恒例により総会と新年祝賀会を同時に開催します。

◎日時 平成28年1月23日(出)  
総会 午後4時  
新年祝賀会 午後5時

◎会場 プラザ都(能代市柳町)  
電話(0185)54-2244

◎会費 4,000円(当日持参)

※当番幹事は45期・55期です。参加申込は同窓会事務局または各期幹事へ連絡してください。同窓会事務局(能代高校内) 電話0185-54-2230 FAX0185-54-2231

# 恩師探訪

能代高校で教鞭をとられた先生方に当時の思い出を綴っていただく「恩師探訪」のコーナー。今回は平成元年度から平成11年度まで11年間勤務した高橋宏先生に筆を振るっていただきました。

## 能代高と私

高橋 宏 先生 (32期)

私は昭和37年に能代高を卒業しました。その後教職に就き、平成元年から11年間母校に勤務しました。能代高との関わりはそれだけではありませんが、主にそのときの思い出を語ろうと思います。



最近の高橋先生



在職当時の高橋先生

高校生になって、高校の授業の質の高さを感じたものです。教師の力とはこんななすこいものかと感動しました。何となく学問の世界に足を踏み入れたように思いました。

もう一つ忘れられない思い出は或る先生から優しく咎められたことです。2年生になって服装がだらしなくなっていました。その先生に呼び止められて、「君は3年生ですか?」「2年です」「君の服装を見て3年生だと思ひ敬意を表しておじぎしよう」と声をかけたんですよ。

これだけの会話。自分の不様さを思い知らされて火の出るような恥ずかしさを覚えました。以来身だしなみに注意するようになりました。

その後教職に就くことになり、高校時代に出会った先生達を目標としながら勤めてきました。しかし教えるというよりは教えられたことのほうが大きかったと思っています。

能代高に赴任する迄に3校で教壇に立ちました。論理が通じない、力技も全く通じない、そういうときが幾度かありました。困難なことでしたが、生徒諸君と一緒に考え、取り組む。そうしているうちにやがて荒くれ(失礼)諸君といふ教室の空気がまるで変わっていくという体験をしました。人との向き合い方を学んだと思います。

能代高に赴任して、今度は生徒諸君に、一通りの知識や教養では通用しないという手強さを感じたものです。読書、特に専門書を読み、授業の準備にも一段と留意するようになったのです。教師とは絶え間ない研修が義務づけられている職業であることを実感させられたものでした。そういうわけで、生徒諸君には、むしろ鍛えられ、育ててもらったというのが偽らぬ実感です。得がたい体験をさせてもらったと思っています。

私は72歳になりました。若い時代を振り返って、自分が出会った先生達のような教師たり得たかと省みるとき忸怩たる思いがあります。教師として生きてきたことには満足しています。出会った生徒諸君にも感謝しています。

最近では自分の人生の最期がかなり明瞭に見えるようになってきました。それまで元気で、趣味と酒を楽しむながらその時を迎えることが願いです。

# 同窓生から

## 90周年と30期

富山 良子

母校創立90周年記念に合わせて、式典の次の日、10月4日ブラザ都で、県外からの参加者10名と合わせて合計28名で開催。母校の90周年と30期という数



字に、時の流れと重みを感じ、様々の事が参加者一人ひとりの胸に去来していた。

校歌を高らかに歌い、解説してくれる工藤茂宣さんの首頭で応援歌も、腹の底から歌った。参加者が28名の小人数なので、近況報告を一人ずつ順番に話した。

- 1 在学中の思い出・十里強歩友達の家に遊びに行き、茸のキンダケを一緒に採った事等。
- 2 健康保持に関する事  
ウオーキングの継続・山菜採り・田畑の耕作・登山・スポーツ・孫との剣道練習・孫のスポーツ試合の応援等々。
- 3 趣味、脳トレに関する事  
囲碁講座の講師・水をテーマにした勉強会・ピアノ練習等。
- 4 ボランティア活動の事  
自治会長・民生委員・老人クラブや地域活動の世話等。
- 5 まだまだ引退せず現役として充実活動している事。  
大きくまとめると以上のようなであった。28通りの人生に触れることが出来た。

参加出来ず申し訳ないご芳志を届けてくれた人もいた。企画・実行してくれた幹事達に感謝し、再会を祈念し、楽しくて有意義な30同期会は終了した。

### 同窓会会計報告(案)

平成26年度分(平成26年9月1日から平成27年8月31日まで)

#### I. 経常費

##### 収入の部

項目	26年度予算額	26年度決算額	比較増減	摘要
1 繰越金	232,311	232,311	0	
2 入会金	1,627,200	1,598,400	△ 28,800	7,200円×222名
3 会費	2,000,000	1,646,000	△ 354,000	
4 寄付金	0	0	0	
5 運営資金繰入	1,000,000	1,000,000	0	基金(秋田銀行普通)から繰り入れ
6 その他	489	30,130	29,641	総会残金、預金利息
合計	4,860,000	4,506,841	△ 353,159	

##### 支出の部

項目	26年度予算額	26年度決算額	比較増減	摘要
1 会議費	300,000	271,091	△ 28,909	総会等補助、各支部会出席費用
2 慶弔費	10,000	3,063	△ 6,937	電報、生花等
3 卒業関係費	100,000	91,141	△ 8,859	入会記念品
4 通信印刷費	2,000,000	2,185,406	185,406	会報印刷、電話費、ほかき、新聞広告
5 事務費	50,000	31,470	△ 18,530	事務用品、事務局員手当
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 事業費	370,000	22,032	347,968	インターネット利用料
8 運営資金繰戻	1,000,000	500,000	△ 500,000	
9 予備費	30,000	0	△ 30,000	
合計	4,860,000	4,104,203	△ 755,797	

《差引残高》 収入 支出 次年度への繰越金  
 4,506,841 - 4,104,203 = 402,638

#### II. 基金

種類	平成26年度決算	平成25年度決算	摘要
1 秋田銀行積立	31,664,272	31,657,965	利息6,307円
2 秋田銀行定期	892,080	891,902	利息 178円
3 秋田銀行定期	1,006,759	1,006,558	利息 201円
4 秋田銀行普通	2,960,473	3,060,072	学校からの返済40万円、利息401円、運営資金繰入100万円(うち50万繰戻)
合計	36,523,584	36,616,497	

#### III. 貸付金

9年間で返済される予定

- 平成20年4月7日 5,880,000円 をエアコン設置代として貸し付ける
- 平成21年1月19日 1,000,000円 を返済される(利息313円) →II.基金4
- 平成22年1月20日 1,000,000円 を返済される(利息196円) →II.基金4
- 平成23年2月3日 1,000,000円 を返済される(利息292円) →II.基金4
- 平成24年2月8日 1,000,000円 を返済される(利息413円) →II.基金4
- 平成25年3月4日 400,000円 を返済される(利息472円) →II.基金4
- 平成26年3月4日 400,000円 を返済される(利息361円) →II.基金4
- 平成27年3月19日 400,000円 を返済される(利息401円) →II.基金4
- 平成27年8月31日現在の貸付残高 680,000円

### 同窓会経常費予算(案)

#### (I) 収入

平成27年度分

項目	27年度予算額	26年度予算額	比較増減	摘要
1 繰越金	402,638	232,311	170,327	
2 入会金	1,670,400	1,627,200	43,200	7,200円×232名
3 会費	1,700,000	2,000,000	△ 300,000	
4 寄付金	0	0	0	
5 運営資金繰入	1,000,000	1,000,000	0	基金(秋田銀行普通)から繰り入れ
6 その他	462	489	△ 27	預金利息など
合計	4,773,500	4,860,000	△ 86,500	

#### (2) 支出

項目	27年度予算額	26年度予算額	比較増減	摘要
1 会議費	300,000	300,000	0	総会等補助、各支部会出席費用
2 慶弔費	10,000	10,000	0	電報等
3 卒業関係費	100,000	100,000	0	入会記念品
4 通信印刷費	1,900,000	2,000,000	△ 100,000	会報印刷、電話費、ほかき、新聞広告
5 事務費	50,000	50,000	0	事務用品、事務局員手当
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 事業費	30,000	370,000	△ 340,000	インターネット利用料
8 運営資金繰戻	1,000,000	1,000,000	0	基金(秋田銀行普通)への繰り戻し
9 予備費	383,500	30,000	353,500	
合計	4,773,500	4,860,000	△ 86,500	

「創立90周年募金」の会計報告は、実行委員会で決算報告がまとまり次第、ご寄付いただいた方々にハガキでお知らせする予定です。またグローバル基金の会計報告は次号に掲載する予定です。

## 54期同期会開催

渡邊 知子

平成27年8月15日に54期生は50歳を迎える節目の年として、昭和59年3月卒業以来2回目の同期会をプラザ都で開催した。今回、同期会の開催に至ったのは約3年前、SNSプロフィールに「能代高校」と記載したことに始まった。何名かの同期生と連絡が取れ10名程度の会合を秋田市で行った際、能代に住む同期生の「開催するならば能代で」の意見を受けての開催であった。近々の名簿を持たない、拳手制による県外在住者の



秋田県立能代高等学校第54期生同期会

幹事会であった。幸いにも、多くの同期生が名前を知っている。だるう人、地元で細やかな打ち合わせや連絡を行える人、会計や管理の知識に長けた人、インターネットの利便性を活用できる人、実働家とイベントの開催に必要な人が集まった。

幹事会の命題は「どれだけ多くの同期生と連絡がとれるか」。インターネットの利便性を活用できる人がSNSで同期生を探し、地元在住者が能代市内、秋田県内の同期生に電話で連絡をとった。連絡を受けた人が、自分の知り得ている同期生に連絡を繋いだこともあった。中には卒業以来、初めての電話連絡

となる同期生もいた。その成果もあり、当日は秋田県内だけではなく三重県や北海道など遠方から約60名の同期生が参加した。学年主任の谷内成治先生、クラス担任の仙葉清志先生、井上忠純先生にもご出席して頂くことができた。

参加者の中から、校旗の持参という嬉しい協力が得られ、校歌や応援歌の音源確保を行い、持参する人などの協力により同期会の演出は万全な形となった。記念撮影は能代で写真店を営む人が担当し、受付や次第の配布、写真の配布、二次会、三次会の手配など協力の申し出があり、円滑に会が開催された。その甲

#### 平成27年3月卒業生 進路状況一覧

生徒数	男	女	計	
	136	86	222	
大学	国公立	53	28	81
	私立	45	39	84
短大	国公立	1	1	2
	私立	0	1	1
専修・各種学校	4	10	14	
就職	18	3	21	
その他	15	4	19	

妻もあり、懐かしい、そして新たな親交を深める時間となった。今回の掲載により参加できなかった同期生に、同期会の開催と活動が伝わることを願っている。

# 90の歴史が息づく松陵の風

—— 我らの至誠よ 未来へ届け ——

## 90周年記念 招待試合

6月19日(金)、創立90周年記念事業のひとつとして硬式野球部と軟式野球部の招待野球が能代市の山田久志サブマリスタジアムと三種町のスカルパ野球場で行われた。当日は天候にも恵まれ、全校生徒が能代高校と対戦校に分かれて応援合戦も行われた。

軟式野球部は招待試合で対戦した作新学院と全国高校軟式野球選手権大会でも決勝戦で対戦し、惜しくも0-2で敗れて準優勝となった。

硬式野球部は招待試合で青森山田高校と対戦し善戦した。その自信が秋の東北地区高校野球秋田県大会の準優勝となって東北大会出場につながり、東北大会では青森第1代表の八戸学院光星と対戦し1-5で惜敗した。

### ▼硬式野球部の試合結果

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
能代	1	0	1	0	2	0	0	0	0	4
日大山形	0	0	0	0	5	1	0	0	X	6

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
能代	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
青森山田	1	1	1	0	1	0	0	0	X	4

### ▼軟式野球部の試合結果

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
作新学院	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
能代	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
羽黒	1	1	0	0	0	0	2	0	0	4
能代	1	0	1	0	0	0	0	1	0	3



創立九十周年記念式典が10月3日(土)午後1時から本校第1体育館で挙行された。来賓、全校生徒697名、同窓生、旧職員、PTA会員等1300人が参列した。

菊池一二三校長(45期)の式辞、森田新一郎実行委員長(40期)の挨拶、来賓祝辞、生徒代表挨拶のあと、教育功労者と特別功労者に対する表彰状並びに感謝状贈呈が行われた。休憩のあと、池上彰氏が「学び続ける力」と題して、NHKで「子どもニュース」を担当した頃の思い出から話し始めた。池上氏の講演は、録画・録音も写真撮影も禁止だったので、写真は記念式典のプロフィール紹介に印

池上彰氏は小学生の時に出会った一冊の本で地方で働く新聞記者のを知ったこと、中学校で天文気象部に入り気象庁の予報官になりたいと思ったこと、高校時代は岩波新書を買って読んで、NHKに入社した時は小さな町に行きたいと希望したことなどを語り、現在の仕事に小学や中学の時の夢が生かされていることを語った。



刷されていたものを使用した。

また、昭和58年の日本海中部地震で合川南小の生徒の取材をしたことに触れて、悲しみの表現の仕方が、母親と父親では異なることなども述べていた。  
大学時代は岩波文庫の星一つの薄本を次々と読んでいた。その中の一冊、「読書について」(ショーペンハウエル)に「読書は他人にもの考えてもらうことである」とあったことに触れ、自分で思索することの大切さに気付かされたと言っていた。  
講演終了後の生徒の質問「学び続けることの原動力は何ですか?」には、「好奇心です。好奇心を大切にすることで生き生きとした人生を送ることが出来る」と答えていた。池上氏のお父上が『広辞苑』の第4版が出版された時に、もう高齢で寝たきりになっていたので1ページづつ読み始めたことに触れ、「何歳になっても学ぶことができる、思

い立った時から始めれば」と、好奇心を持ち続けることで、若さを持ち続けることが出来るかと語っていた。  
この講演で一番印象的だったのは、生徒会からのお礼の「あきたこまち」。こういう時に花束が贈られることが多いが、今回は「あきたこまち」10kg袋。さらにすばらしくたのが生徒による「お礼の言葉」。池上氏の講演内容をすべて咀嚼し、その内容を盛り込んだ感謝の言葉には聞いていた人たちが感動の拍手を送っていた。

顧問	佐々木 満 (15期)
会長	田中 純 (25期)
副会長	森田 新一郎 (40期)
"	浅田 美 (17期)
"	島田 嘉一 (30期)
"	佐藤 孝 (30期)
"	山田 行 (32期)
"	飯田 悦 (35期)
"	柴田 誠 (37期)
"	袴田 俊彦 (47期)
監査	塚本 恵子 (42期)
"	泉 牧 (48期)
"	工藤 弘子 (42期)
"	松谷 健 (35期)
"	高橋 宏 (32期)
"	小内 勝 (33期)
"	五十嵐 浩 (50期)
"	伊勢 幸 (57期)
"	大塚 孝 (50期)
"	太田 幸 (50期)
"	伊勢 幸 (57期)
"	奈緒子 (57期)



記念事業で設置された掲示板。最初の掲示は8月3日軟式野球部全国大会出場の記事。

### 『松陵九十年』発行

記念誌『松陵九十年』は1500部発行された。内容はこれまでの周年記念誌と同様「年表」「思い出の記」やこの10年間の軌跡をまとめたものである。本誌には生徒会誌『巨濤』44号（平成14年3月発行）に掲載された〈「自在の像」誕生の由来〉を転載した。巨濤44号は学校にも残部がなく、読んだ生徒も72期生から74期生に限られていたので、今回「自在の像」の由来をはじめて知った同窓生も多いと思う。

同窓会では、創立50周年記念誌以降の記念誌を同窓会ホームページで閲覧出来るようにしている。今回も10月2日に全文をpdf形式のファイルで掲載したので、すでに読んだ同窓会員も多いと思う。



同窓会のホームページは、能代高校のホームページからリンクをたどるか、「能代高校同窓会」で検索していただきたい。



秋田から参列した同窓生（24期）は、「素晴らしい90周年行事に感謝を受けました。記念誌を斜め読みしましたが、特に先輩諸氏の玉稿・寄稿を楽しく拝読しました」と語っていた。

祝賀会は午後5時30分からキャッスルホテル能代で行われた。200人程がぎゅっしりと集まり熱気を帯びていた。口々に式典での生徒たちの立派さを褒め称えていた。



### 記念祝賀会

上の写真は、校歌斉唱を壇上でリードする菅原幸一氏（47期）と池端寛氏（60期）。このあと福田幸一氏（55期）の万歳三唱でお開きとなった。

### 校歌・応援歌集CD

創立九十周年記念品として制作された「校歌・応援歌集」CD。校歌と応援歌「戦わん哉」「遠征歌」「北羽に吠ゆる」「凱歌」「讃歌」「日本海」が収録されている。このCDを聴いた先輩（28期）は、「懐かしさがこみ上げてきた。入学し立ての頃の応援歌練習風景を思い出があるのか」と心配していた。現在はそういう風習は行われていない。



### 校友時報発行

九十周年を記念して校友時報の285号も発行された。この新聞も『松陵九十年』と同様に同窓会HPで読むことが出来る。



## 会費納入にご協力を!

(事務局 財務担当)

皆様には毎年会費納入にご協力をいただきありがとうございます。納入いただきました会費総額のこれまでの状況を過去5年間で見てみますと、平成22年度が194万円、23年度が193万円、24年度が190万円、25年度が182万円、そして26年度における会費総額は164万円と年々減少の一途をたどっております。まさに危機的な状況であり、今後に大きな不安を感じています。皆様方からの会費はその半分以上の100万円を能代高校教育振興会に寄付し、黒松の剪定や施設整備補修に活用されており、残りは「松陵」の発行費用の一部に充てております。「松陵」については、伝統的に会費を納入していただいている方々も含めて約1万4千部発行してまいりましたが、今のままではこの伝統を守れない現状にあり、「松陵」を送り届ける方々や「松陵」の内容などを検討しなければならない状況になっています。経済情勢が大変厳しい折り恐縮に思いますが、皆様方のご支援、ご協力についてよろしくお願いいたします。

## 事務局からのお知らせ

「グローバル人材育成基金」への寄付の継続について  
グローバル人材育成基金を昨年は休止しましたが、今年から再開しますのでよろしくお願ひします。詳しくは「松陵」27号と一緒に送られた「グローバル人材育成基金のご寄付について」をお読みください。  
本年度総会は1月23日開催となります  
本年度は創立九十周年式典が開催されたので、恒例により総会は1月開催となりました。したがって3ページ掲載の同窓会会計報告は総会で審議する(案)です。会場はプラザ都、午後4時開会です。

### 全国軟式野球選手権大会 出場報告

軟式野球部顧問

平田 有宏

8月22～26日に兵庫県明石市・高砂市で行われた全国選手権大会に2年連続で出場しました。

初戦、2回戦はいずれも接戦で勝利し、準決勝では北信越・長野県代表上田西高校と大会史上初のタイブレーク制により、延長14回で勝利し、5年ぶりに決勝に進出しました。決勝では招待試合でも対戦し、定期的に交流もある、北関東・栃木県代表作新学院高校と終盤まで互角に渡り合いましたが敗れ、準優勝となりました。

最後に、多方面から多大なるご協力ご支援をいただきました。



したことにつきまして、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

### インターハイに参加して

空手道部顧問 佐々木政則

空手道部女子は、創立九十周年という節目の年に、全県総体「団体組手」で十年ぶり三回目の優勝を果たし、念願の団体種目で、インターハイに出場することができました。

空手道競技は、奈良県宇陀市「宇陀市総合体育館」で行われ、大会では、一回戦和歌山県代表の箕島高等学校と対戦し、五対〇で負けてしまいました。しかし、選手たちは、能代高校らしい雰囲気を作り、各自が得意とする技で全力を出して戦うことができ、充実感を持って大会を終えることができました。この貴重な経験を今後の人生に役立ててもらいたいと思



います。来年度も、全国大会で活躍できるように頑張りたいと思いますのでご支援をよろしくお願いたします。

### 体操部インターハイ 出場報告

体操部顧問 大塚 孝幸 (57期)

体操競技は、7月31日～8月3日まで大阪市中央体育館で行われました。5年連続36回目の出場となりましたが、今年度は男子団体戦に6名、個人戦に1名、女子個人戦に1名の計8名が出場しました。

男子は現地に入る前に、世界チャンピオンの内村航平選手が所属するコナミ体操クラブで強化合宿を行い、今年も予選通過(上位16校)を目標し大会に臨みました。演技に多少のミスは出ましたが、ものの、選手達はチームのために、お互い声を掛け合いながら持っている力を十分出した。しかし、全国の壁は厚



く目標としていた予選突破を成し遂げることが出来ませんでした。今後も伝統ある能代高校体操部が全国の舞台で活躍できるように頑張っていきたいと思います。

### 第62回全国高校放送コンテストに参加して

放送部顧問 伊勢奈緒子

7月20日から国立オリンピックセンターで行われた全国高校放送コンテストに、山下聡子さん、金野明帆さん、伊藤水葉さん、松橋凜歩さんの4名が、「テレビドキュメント部門」で出場しました。内容は軟式野球部の昨冬からの取り組みを追ったもので、本校軟式野球部は看板の部活動の一つですが、全国的には軟式野球の知名度が低いことから、是非その知名度を上げたいとの思いで作品作りに取り組んできました。

練習キャプテンとゲームキャプテンという2人の主将と違った特徴や雪深い地域での練習の工夫など全校生徒にもあまり知られていなかったことを取材の中で見つけ作品にできたことは、コンテストのねらいである「校内放送」の意義を十分達せられたと思います。しかし、全国のレベルは高く、身近な話題を社会的な問題につなげるなど、若い高校生の感性がありながら、

問題提起を図るなど内容の深さに圧倒されました。今後も伝え手として視野を広げていきたいと思えます。作品制作にあたり、応援、協力、ご頂きありがとうございます。ご協力ありがとうございました。



### ディベート甲子園

弁論部顧問 鈴木 瑞穂

弁論部は8月のディベート甲子園に向けて3月の論題発表からリサーチを開始し、論題に関する知識を深めて主張をまとめました。

東北大会で優勝し、東北第一代表として、8月8日～10日に女子聖学院中学校高等学校(東京)で行われた第20回全国中学・高校ディベート選手権に出場しました。論題は「日本は裁判員制度を廃止すべきである。是非か?」でした。司法改革の目玉の一つとして2009年に導入された裁判員制度。法律の専門家で

ない一般市民が刑事裁判に参  
加することの意義や司法にも  
たらした変化について議論を  
深めました。

予選リーグ第1試合、第2  
試合と敗れたものの、第3試  
合で能代高校らしいディベ  
トを展開し、勝利しました。  
得失点差で予選リーグ敗退と  
なりましたが、全国大会での  
経験は貴重なものとなりまし  
た。全国のレベルの高さを肌  
で感じ、さらにも上を目指し  
た。この思いを強くしました。



### 全国高等学校将棋選手権 大会出場報告

囲碁将棋部顧問  
佐藤 寿志

7月28・29日に滋賀県米原  
市で行われた全国将棋選手権  
の女子団体に出場しました。  
本校としては初の、また秋田  
県としても平成21年度以来の  
女子団体での出場となりまし  
た。

本校の3選手はいずれも高  
校入学後に将棋を始め、棋  
力はまだまだ十分ではありません

せん。大会前は、正直なところ、予選リーグ4戦して一人も勝てず、最下位になるのではと心配していたのですが、宮崎県代表に勝つことができ、とてもうれしく思っています。

生徒たちも全国での1勝を大変喜んでいました。結局、予選リーグ1勝3敗で決勝トーナメントには進めませんでした。負けた試合でも、もう少しのところまで粘ることができ、大変実りのある大会となりました。

3選手はいずれも2年生なので、個々の棋力の向上をめざし、今後の大会に向けてさらに努力させたいと考えています。



### 国際大会参加報告

無線部顧問 鈴木 道生

9月6日から12日まで群馬県渋川市で開催された第10回IARU

RUアジアオセアニア地域ARDF選手権大会に、佐藤洋通(3年)と工藤理彩(2年)が日本代表として参加しました。この大会は日本開催でしたが全日本大会とは比較できない程の難度で、出場選手は悪戦苦闘でした。

また今回から2つの新競技が追加されて4競技となり、本校の2名もゴールするのが精一杯の前半戦でした。徐々に感覚を掴んだ3日目のクラシック第2競技で佐藤洋通が健闘の第2位となり、最終日のFoxoring競技ではついに優勝を果たしました。3年生で、受験勉強と両立させての準備・出場でしたが、このような結果を残すことができ、大変喜ばしく思っています。

工藤理彩も個人での入賞こそ叶いませんでしたが、クラシック第1競技で日本チームとして第2位のメダルを獲得しました。最後になりますが、この場をお借りしまして、多くのご声援とご支援を頂戴しましたことに感謝申し上げます。



## 平成27年度 部活動大会結果

野球及び各部東北大会以上

**<体育圏>**  
**全国大会 (全国高等学校総合体育大会)**  
 体操部 男子団体総合 35位  
 メンバー 塚田 竣、佐々木大地、渡邊晴喜、嶋田大輝、伊藤裕大  
 男子個人 佐々木大地、渡邊晴喜、高野太一、嶋田大輝、伊藤裕大  
 女子個人 永塚さくら  
 空手道部 女子団体 1回戦敗退 0-4 箕島高校 (和歌山県)

**東北大会**  
**柔道部 東北高等学校柔道大会 女子個人 1回戦敗退 田森比奈子**  
**体操部 第44回東北高等学校体操競技選手権大会**  
 男子団体 準優勝 (30年ぶり4回目)  
 塚田 竣、渡邊晴喜、嶋田大輝、伊藤裕大  
 個人出場 塚田 竣、佐々木大地、渡邊晴喜、高野太一、嶋田大輝、伊藤裕大  
 個人総合 9位 渡邊晴喜、嶋田大輝 11位 塚田 竣  
 種目別 あん馬6位 嶋田大輝 男子つり輪8位 塚田 竣 10位 渡邊晴喜  
 跳馬5位 渡邊晴喜 平行棒5位 塚田 竣、嶋田大輝  
 鉄棒6位 嶋田大輝 8位 塚田 竣、渡邊晴喜

**第42回東北総合体育大会 体操競技大会**  
 少年男子 秋田県5位 塚田 竣、渡邊晴喜、高野太一、嶋田大輝、伊藤裕大  
 男子個人総合 6位 嶋田大輝  
 種目別 あん馬 2位 嶋田大輝 跳馬 優勝 渡邊晴喜  
 平行棒 4位 嶋田大輝

**空手道部 第37回東北高等学校空手道選手権大会**  
 女子団体組手 2回戦進出 ベスト8 女子個人組手 2回戦進出 池端望来  
**陸上競技部 第70回東北高等学校陸上競技大会**  
 男子400m 畠山侑生 準決勝3組4着 400mH 袴田文也 準決勝1組7着  
 女子走輪跳 安藤賢子 25位 男子三段跳び 大谷周平 20位  
**第42回東北総合体育大会 陸上競技 男子400m 畠山侑生 予選2組7着**  
**第27回東北新人陸上競技大会** 女子200m 安保 凜 予選3組8着

**水泳部 東北総体全国大会予選**  
 男子400m自由形 藤田和陸 予選47位 男子1500m自由形 藤田和陸 予選38位  
 男子200m平泳ぎ 今泉宏優 予選40位

**軟式野球部**  
**春季全県大会**  
 1回戦 1-0 秋田工業 準決勝 4-1 能代工業  
 決勝 1-0 秋田商業 (優勝)

**春季東北地区高等学校軟式野球大会**  
 1回戦 8-1 平工業、準決勝 2-0 専大北上  
 決勝 0-7 秋田商業 (準優勝)

**全国高等学校軟式野球選手権大会秋田県大会**  
 準決勝 7-6 能代工業 決勝 2-1 秋田商業 (優勝)

**全国高等学校軟式野球選手権大会北東北大会**  
 準決勝 2-0 盛岡一高 決勝 4-1 弘前工業 (優勝)

**全国高等学校軟式野球選手権大会 (明石市・高砂市)**  
 1回戦 2-1 津久見 (北部九州) 準々決勝 2-0 崇徳 (西中国)  
 準決勝 3-1 上田西 (北信越) 決勝 0-2 作新学院 (北関東) (準優勝)

**第70回国民体育大会 (紀のくにわかやま国体)**  
 2回戦 2-4 新田 (愛媛)

**硬式野球部**  
 春季東北大会 1回戦 2-0 大館 2回戦 2-5 大館鳳鳴  
 代表決定戦 4-7 能代工業

**全国高等学校野球選手権秋田大会**  
 1回戦 6-2 由利 2回戦 4-3 角館 3回戦 3-6 大曲農業

**秋季東北大会**  
 2回戦 9-8 能代工業 3回戦 3-6 十和田  
 代表決定戦 8-0 十和田 11-1 能代西 5-0 大館国際

**秋季全県大会**  
 1回戦 11-1 平成 準々決勝 7-5 秋田西  
 準決勝 6-5 大館鳳鳴 決勝 3-5 秋田 (準優勝)

**秋季東北地区高等学校野球大会**  
 2回戦 1-5 八戸学院光星 (青森県)

**<文化圏>**  
**全国大会**  
 無線部 第12回全国高等学校ARDF競技大会  
 女子個人 7位 蔵合菜々子  
**IARU Region3 MARDF選手権大会 (アジア・オセアニア大会)**  
 144MHz競技 M19 2位 佐藤洋通 W19 6位 工藤理彩  
 3.5MHz競技 M19 6位 佐藤洋通  
 スプリント競技 M19 5位 佐藤洋通 W19 6位 工藤理彩  
 FOX-0-RING競技 M19 1位 佐藤洋通 W19 6位 工藤理彩

**囲碁将棋部 全国高等学校将棋選手権大会 女子団体 予選リーグ1勝3敗 30位**  
**放送部 NHK全国放送コンテスト テレビドキュメント部門 出場**

**予選リーグ 第20回全国中学・高校ディベート選手権**  
 予選リーグ 第1試合 能代 (肯定) 0-3 慶進 (否定)  
 第2試合 能代 (肯定) 2-1 能代 (否定)  
 第3試合 能代 (肯定) 3-0 富山第一 (否定)  
 以上の結果 予選リーグ敗退

**東北大会**  
**弁論部 第20回ディベート甲子園東北地区予選**  
 予選リーグ 第1試合 能代 (肯定) 3-0 古川黎明 (否定)  
 第2試合 伊保内 (肯定) 0-3 能代 (否定)  
 代表決定戦2 能代 (肯定) 3-0 相馬 (否定)  
 代表決定戦3 東北学院 (肯定) 0-3 能代 (否定)  
 以上の結果 優勝



会長 石井 喬(46期)

皆様はじめまして。能代高校東京同窓会新会長の46期石井喬です。まずは能代高校創立九十周年おめでとうございます。

私は、東京同窓会前会長の菅原渉様の任期満了に伴いまして新会長に就任させて頂くこととなりました。

46期といえば、在学2年の秋に樽子山から高埜に校舎が引っ越しとなり、両方の地を知る数少ない期のOBということになります。

さて、今年も10月3日に開催された東京同窓会総会は、御来賓の皆様をはじめ能代市ならびに母校関係者による御支援のもと、大成功の開催とすることが出来ました。我々役員幹事も感慨無量でございます。心より御礼申し上げます。

年々、会の内容も色濃くなりまして、ここ数年はOB有志で結成された松陵クワイヤ「ゴスペル」がプロの先生による御指導のもと披露させて

頂いた「秋田音頭・他」が目玉となりつつあります(ライブ状況は「能代高校東京同窓会」で検索してホームページでお楽しみください)。

又、参加者全員で斉唱する校歌や万歳三唱などは、参加者の気持ちが一いつに結集される瞬間ではないでしょうか。

そして忘れてならないのは、OBによる講演会です。今年の講演会は、東京の赤坂でスペイン料理のレストランを経営されております41期の金子裕二様による生ハムでの「これからの夢」を拝聴させて頂き、大変感動致しました。

何れともあれ総会当日のひとつひとつを詳細にお知らせするには内容が濃すぎて、とても説明出来ない程です。そして、この総会という年に一度の集大成に至るまでのプロセスの中に、網の目を張るよう様々な同好会活動があるのです。

能球会(ゴルフ)・能高五日会(若者会)・東京探訪会・樽子山会・棋聖会・能高釣りクラブ・能高バスケットの会等々です。これら全てが血の結束ならぬ酒の結束で結ばれております。要はOBひとりひとりの温かい結びつきを大切にしている、そんな集いです。我々東京同窓会の役員幹事は、全てに勢いのある現在を更にアップし、来年再来年と

益々の努力をして参りますので、御指導御鞭撻のほど宜しくお願い致します。

県庁能高会

佐藤 徹(51期)

今年の県庁能高会総会は、7月8日に秋田市のパークホテルで開催しました。

総会には菊池校長先生、森田同窓会会長、秋田支部より平川信夫幹事長(36期)にお越しいただきました。

来賓には県議会議員の能登先生、平山先生、菅原先生、薄井先生と本校出身の4人全員の県議会議員に御出席いただき、さらに三浦三種町長と高堂副町長にも御出席いただき、大変豪華な顔ぶれとなりました。

菊池校長先生の母校の近況報告に始まり、硬式野球部の成長が著しく期待できるとの話に会場は沸き、引き続き開催された総勢49名による懇親会は大変盛り上がりしました。今年も、軟式野球部の全国大会出場への寄附金もありましたが、会員皆様のご協力を得て集めることができました。やはり、年一回とはいえず、総会を開催することで得られた繋がりが重要であると改めて感じた次第です。

秋田県立能代高等学校同窓会本部・支部一覧

同窓会本部のEメールアドレス  
noshirohs-dousou@shirakami.or.jp

2015/10/31現在

名 称	郵便番号	所在地(事務局住所または会長宅)	宛先(代表者名)	電話・fax	会長名・支部長名	期	
本部	能代高校同窓会	016-0184	秋田県能代市字高埜2-1 秋田県立能代高等学校内 <a href="http://www.shirakami.or.jp/~noshirohs-dousou/">http://www.shirakami.or.jp/~noshirohs-dousou/</a>	能代高校同窓会事務局	0185-54-2230 fax0185-54-2231	森 田 新一郎	40
	東京同窓会	157-0076	東京都世田谷区岡本1-33-12 ビュー加賀見305号 (株)トップライズファクセス内 <a href="http://shoryokenji.web.fc2.com">http://shoryokenji.web.fc2.com</a>	能高東京同窓会事務局	03-6411-7955 fax03-6411-7945	石 井 喬	46
	秋 田 支 部	010-0976	秋田市八橋南2-10-16 農協ビル6階 柴田・加賀法律事務所内	加賀 勝己	018-864-2601 fax018-864-2602	加 賀 勝 己	30
	県 庁 能 高 会	010-8572	秋田市山王3丁目1-1 秋田うまいもの販売課内	県庁能高会事務局 佐藤 徹(51期)	018-860-2258 fax018-860-3878	平 川 祐 作	48
支	北 海 道 支 部	060-0062	札幌市中央区南2条西7丁目5-6 (株)雪研スノーイーターズ内	事務局長 大槻 政哉(58期)	011-272-3540 fax011-272-3550	佐 藤 毅	50
	近 畿 支 部	655-0002	兵庫県神戸市垂水区小東山5丁目6-7	平川 長	078-794-0998 fax 電話と同じ	平 川 長	29
	青 森 支 部	030-0966	青森市花園1-27-18	原田 和夫	017-742-5325 fax017-744-6150	原 田 和 夫	26
部	大 館 支 部	017-0844	大館市新町10	西村 銀三	0186-42-0221 fax 電話と同じ	西 村 銀 三	14
	鷹 巣 阿 仁 支 部	018-3322	秋田県北秋田市住吉町8-27	田中 三夫(27期)	0186-62-2731 fax0186-62-2757		
	二 ツ 井 支 部	018-3104	能代市二ツ井町字沢口82-40	事務局 小林 勝幸(47期)	0185-73-3935 fax 電話と同じ	丸 岡 一 直	40
	藤 里 町 松 陵 会	018-3203	秋田県山本郡藤里町大沢字館の下21-8	石田 洋三	0185-79-1801	石 田 洋 三	27
	松 陵 津 軽 会	038-2206	青森県西津軽郡深浦町大字松神字下浜松1-1	田口 彰	0173-77-2322 fax0173-77-2676	田 口 彰	35